

コミュニケーション第2335号

理事会の決定

ISU理事会は2020年7月6日にオンライン会議を通じて会合を行った。以下は会合の中で理事会によって為された決定である。

1. ISU選手権2020/21シーズンの明確な割り当て

ISU一般規程の第127条に従い、理事会は次のように2021年の選手権を割り当てた。

Short Track Speed Skating

ISU European Short Track Speed Skating Championships to be held in Gdansk, Poland on January 15-17, 2021

Covid-19の状況に関するメモ:

ISU理事会は、指定された作業部会 (ISUコミュニケーション第2320号及び第2327号を参照) 及び全てのISU大会の運営ISU会員と密接に協議してCOVID-19関連の進展を注意深く監視し、速やかに延期及び/又は開催地の変更及び/又は中止を決定し通知する。

2. エントリー – ISUフィギュアスケート選手権2021

i) シングル/ペア スケート, アイスダンス

ISU欧州フィギュアスケート選手権2021, ISU四大陸フィギュアスケート選手権2021及びISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権2021の選手エントリーは、通常通り対応する2020年選手権の結果に基づき行われる。

ISU世界フィギュアスケート選手権2020は開催されなかったため、それらの選手権のエントリーがISU世界フィギュアスケート選手権2021に使用される。

ii) Synchronized Skating

As the ISU World Synchronized Skating Championships 2020 were not held, the entries for those Championships will be used for the ISU World Synchronized Skating Championships 2021.

The ISU World Junior Synchronized Skating Championships 2020 were held, but some ISU Members were not able to take part because of COVID-19. According to Rule 868, at ISU Synchronized Skating Championships, the top five (5) placed ISU Members in the previous ISU Synchronized Skating Championships may enter two (2) Teams.

For the ISU World Junior Synchronized Skating Championships 2021, this means that Finland, Russia, Canada, Sweden and Poland may enter two (2) Teams. In addition, exceptionally, the USA may enter a second Team because the USA has been in the top five placed ISU Members in the previous three seasons and the two USA Teams entered at the 2020 Championships were not able to compete due to COVID-19.

3. ジュニアグランプリフィギュアスケート2020/21シーズン

ISU理事会は、2020/21シーズンの計画に関して理事会が任命した作業部会の報告と勧告、及びISU医療委員会からの情報を検討した。理事会は、コロナウイルスの世界的な広がり、起こりうる第二波の範囲と影響が未知であること、及び現時点で利用可能なワクチンや薬物がないことから、状況は脆弱で予測不能なままであることを認識した。国内の大会でさえ、今すでに、あらゆるレベルで考慮すべき要素が非常に複雑になっている。さらに、国際レベルでは旅行、宿泊、及び検査、追跡、検疫、治療、社会的距離、マスクの強制など、各国で異なる公衆衛生手続きがあるため、現在、参加者の安全を確保するために、あらゆる側面を計画し調整することが非常に困難である。ISUジュニアグランプリフィギュアスケートシーズン2020/21に関する、以下の判断と勧告的な決定は、国際的なアイススケート大会への参加者の健康と安全は最優先事項であるが、選手に国際的に競争する最良の機会を与える必要性もあり、その結果ISUは、2020/21シーズン中に安全に開催できる全ての国際大会を開催するためにISU会員をサポートするために全力を尽くす、というISU理事会のコミットメント (ISUコミュニケーション第2320号を参照) に基づいている。上記の約束に留意し、一部の地域では、追加のキャンセルにつながる可能性のある適用される移動やその他に関する制限について、保留中の質問があることに注意しながら、理事会は、現時点で2020/21シーズンについて以下のISUジュニアグランプリ大会が計画されていることを承知している:

| | | |
|-----------------|------------------|---------------|
| 第1大会 | 2020年9月9-12日 | ブダペスト/ハンガリー |
| 第2大会 (ペアスケート含む) | 2020年9月23-26日 | オストラヴァ/チェコ |
| 第3大会 (ペアスケート含む) | 2020年9月30日-10月3日 | タシケント/ウズベキスタン |
| 第4大会 | 2020年10月7-10日 | リュブリャナ/スロベニア |
| 第5大会 (ペアスケート含む) | 2020年10月14-17日 | リガ/ラトビア |

当初予定されていたスロバキア共和国、カナダ、日本でのジュニアグランプリ大会は、主催者によりキャンセルされた。理事会は、COVID-19パンデミックに関連する現在の移動及びその他の制限により、ジュニアグランプリ大会は、以前に計画された条件下で開催することはできないという、作業部会の結論に同意した。特に、現在残っている各大会に専用のエントリーを割り当てることは不可能である。さらに、移動及びその他の制限は、主催国及び参加するISU会員の国により異なり、時間の経過とともに変わる可能性がある。エントリーの割り当てを決定し、それぞれのイベントへの安全で無制限の移動を確保すると、物流上の課題、潜在的な深刻な合併症、継続的な調整のリスクを招く。従って理事会は、上記の予定されたISUジュニアグランプリ大会について以下を決定した:

- a) ISUジュニアグランプリポイントは付与されず、2020/21のISUジュニアグランプリランキングは設定されない。

- b) 2020年12月10-13日に北京で予定されているISUジュニアグランプリフィギュアスケートファイナルの開催及び対応する参加基準についての決定は保留中であり、次回の理事会で決定される。
- c) ISU会員に各ジュニアグランプリ大会に参加するための事前割り当てエントリはなく、ISU会員は選手を参加させるイベントを選択できる。
- d) 正確なエントリー制限と手順、及びその他の物流の詳細（賞金やワールドスタンディングポイントなどの問題を含む）はISUジュニアグランプリフィギュアスケート2020/21の新しい要項と個々の各ISUジュニアグランプリフィギュアスケート大会の要項を通じて、できるだけ早く公開される。
- e) 医療と安全に関する新しいガイドラインは、ISU大会コーディネータとISU医療委員会によって、現在準備中であり、できるだけ早く通知される。

4. チャレンジャーシリーズ 2020/21

理事会は、2020/21シーズンの計画について理事会が任命した作業部会の勧告に沿って、2020/21シーズンのフィギュアスケートとシンクロナイズドスケート両方のチャレンジャーシリーズ大会が、シリーズとしてではなく、個別の大会として開催されることに同意した。チャレンジャーシリーズの順位はなく、従ってシーズンの終わりに賞金が分配されることもない。これらのチャレンジャーシリーズ大会に参加する選手は、一般的なチャレンジャーシリーズの要件（競技役員への任命、エントリー数などに関して）が満たされている場合、チャレンジャーシリーズワールドスタンディングポイントを引き続き獲得できる。

5. 次回の理事会

理事会は2020年8月3日月曜日に再度オンラインで会合を行う

理事会はまた、進行中のCovid-19パンデミック状況、特に国際移動に関する不確実性のため、2020年10月16-18日にスイスのジュネーブで予定されている理事会を、オンラインで開催することも決定した。次の通知があるまで、会議や、他のISU内部組織のセミナー及び試験にも同じことが適用され、オンラインで開催されるか延期される。

トゥブベゲン、
2020年7月6日
ローザンヌ、

ISU会長 Jan Dijkema,
専務理事 Fredi Schmi